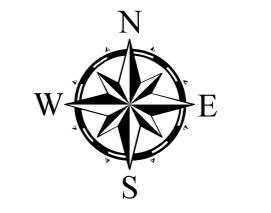
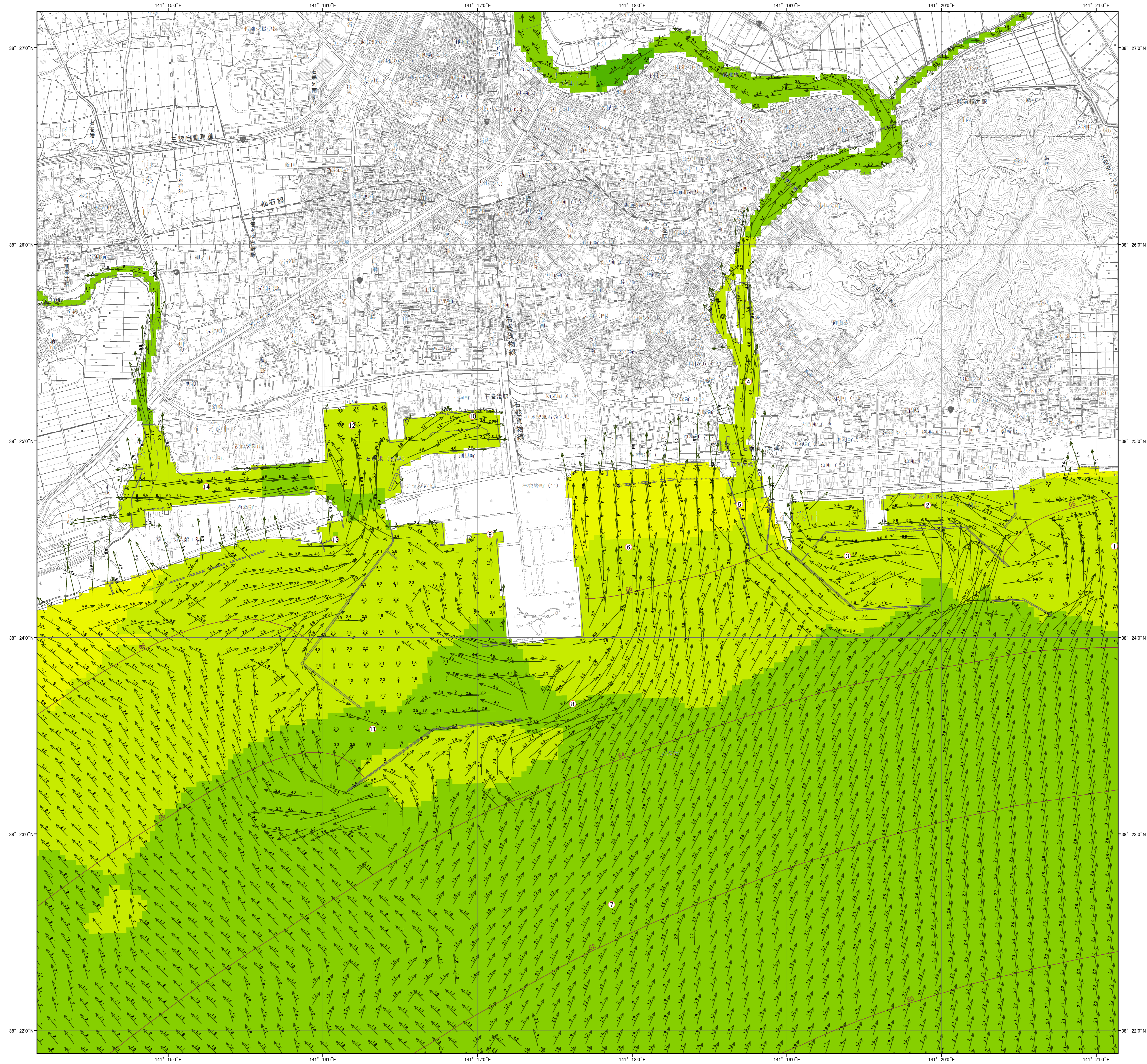


計算条件: 最高水面(零位)  
 隆起量: 平均 -0.02m  
 Zo: 0.90m  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

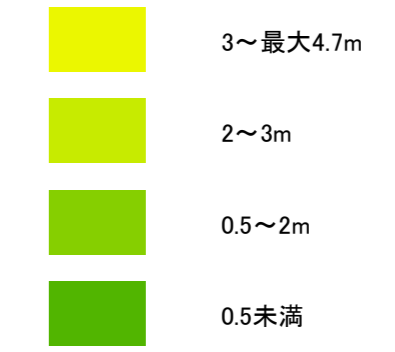


座標系:メルカトル図法  
 測地系:世界測地系(WGS84)



### 凡例

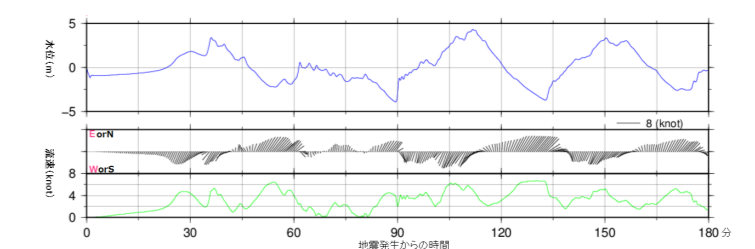
最大水位上昇



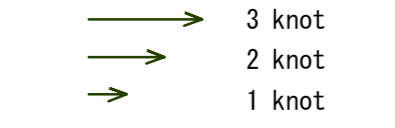
経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を列挙の経時変化図で示す。)

(例)水位・流向・流速経時変化図



進入時最大流 (knot)

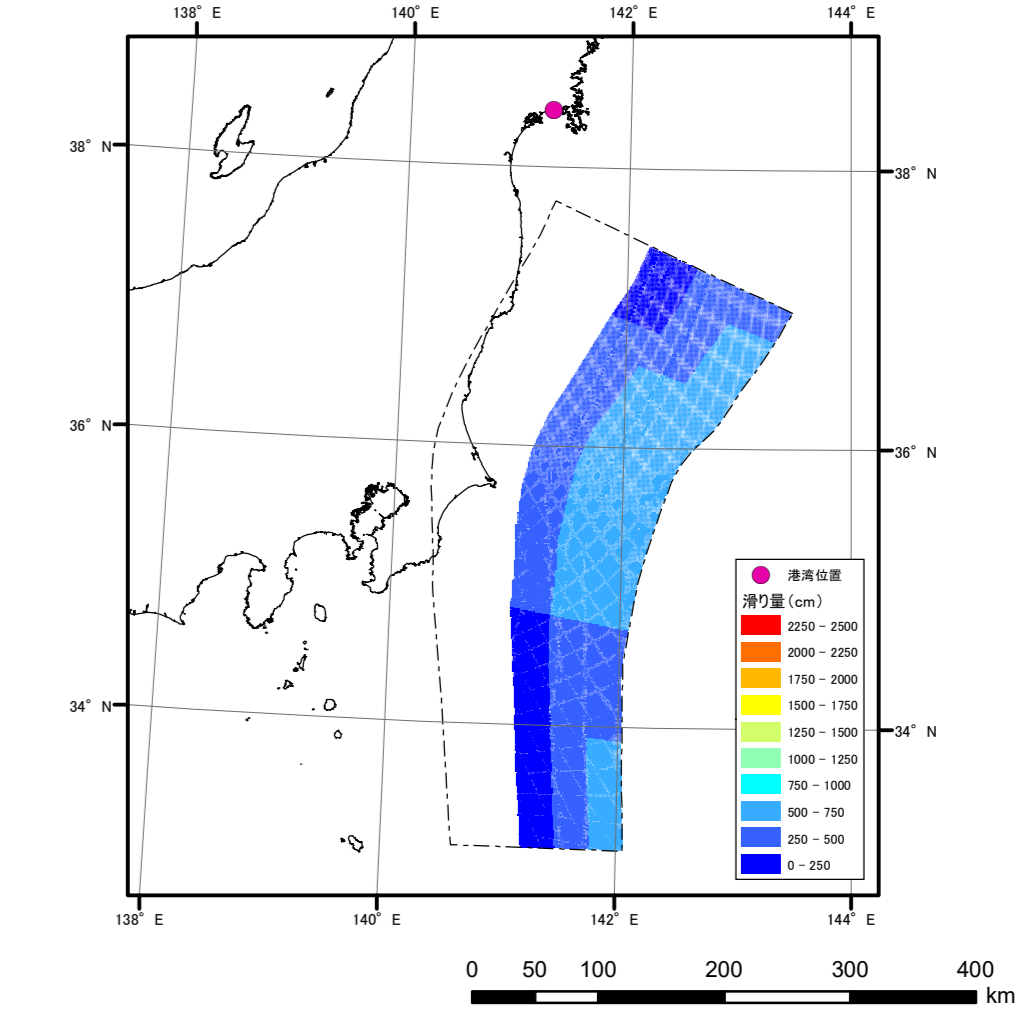


○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

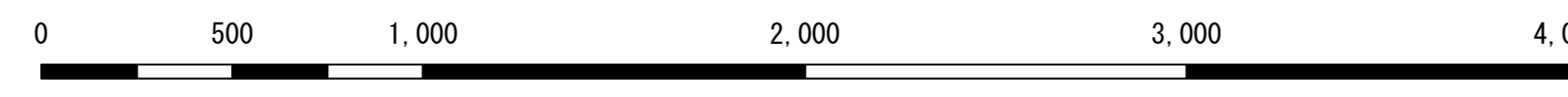
○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情保、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

作成機関: 海上保安庁  
 防災情報図作成年月: 平成29年8月(初版)  
 地形データ作成年月: 平成29年1月(初版)